

コミュニケーションボード

筆談
希望

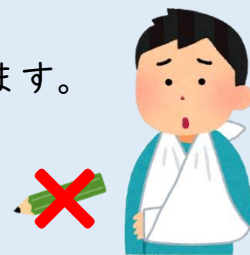
Q 入場券はがきがありません。

A 本人確認できれば
投票できます。



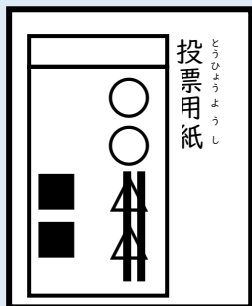
Q 字が書けません。

A 職員が代筆します。



Q 書き間違えました。

A 二重線で訂正して
ください。



Q 候補者がわかりません。



A 記載台に氏名等掲示があります。
選挙公報を貸します。

Q 書き方がわかりません。

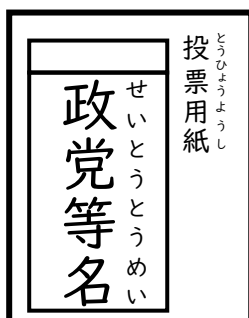
A 下記を参考にしてください。

衆議院選挙

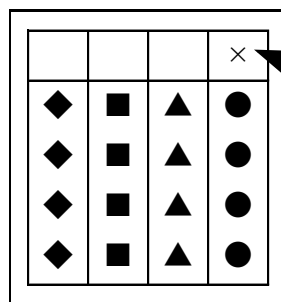
小選挙区



比例代表



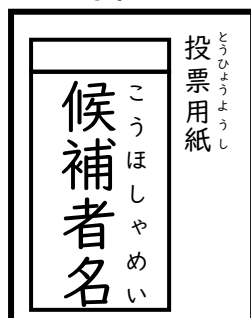
国民審査



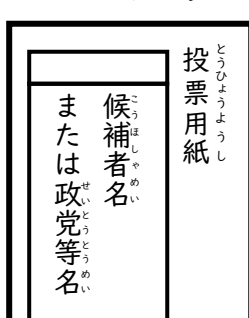
辞めさせたい
人に「X」を

参議院選挙

選挙区



比例代表



地方選挙

市長選、市議選、知事選、県議選



1. コミュニケーションボードとは？

投票に来られた方からの、よくある質問や依頼をイラストでまとめたものです。文字や話し言葉が難しい方であっても、指さしてコミュニケーションをとることができます。

2. どうやって使うのですか？

ボードを利用しそうな人が来たら、次のように行動してください。

- ①筆談用の紙とペンを用意し、目線を合わせつつ、ゆっくり話しかけてください。
- ②わからないようでしたら、該当しそうなイラストを示し、「これですか？」と聞いてください。

※聞こえなくても、口の動きが参考になりますので、声を出してください。
- ③利用者が指さしをしたら、質問や依頼を復唱して確認してください。発音が不明瞭な方から質問された時も同様に、ボードの該当欄を示し、視線を合わせつつ、ゆっくり確認してください。
- ④胸を手のひらで軽くたたく仕草は「わかった」という意味の手話です。うなずくだけの人もいます。

3. 筆談をするときに注意することは何ですか？

- ①文章は短文の「ですます調」で書いてください。
- ②書き終わったら、書いた内容を身振り手振りを交えながら声を出して読んで伝えてください。

4. その他

こちらが伝えていた内容が、相手にうまく伝わっていないことがあります。その後も様子を観察してください。